

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス ステップワン湯本校

対象人数(保護者)21人 回答者数 20人 回収 95.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			言葉で伝える事ができない息子も、安心して活動できています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1		
適切な支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	2		とても親身になって息子に寄り添っていただき、そのうえで専門家としての的確なアドバイスをいただけるので、非常に嬉しく思っています。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1		
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	19	1		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1		
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	2	
保護者への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1		
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3		
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	5		きょうだい向けのイベントについて、該当しないから実施の有無を知らないだけかと思います。 また、保護者同士の交流は希望しないため、こちらの支援は不要です。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3		訓練してると思いますが、確認できてなく分らなかったなので、どちらともいえないにしました。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	1		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	1	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	19	1		安心して預けられてます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 3日

事業所名 ステップワン湯本校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・利用定員に対する設置基準は満たしています。 ・室内での活動には十分なスペースであると考えております。	・体を大きく動かす活動については、屋外で取り組んでいます。
	2	職員の配置数は適切である	○			・利用定員に対する設置基準を満たし、更に加配職員も配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・玄関に段差があります。	・配慮が必要な利用者様が利用される場合の準備は整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・業務改善のための会議を開催し、様々なことについて話し合い、改善努力をしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・保護者様のご意見は全職員で共有し、検討すべき項目については会議等で話し合い、迅速に対応できるようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・ホームページ上で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	・当事業所では第三者評価を行っていません。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・事業所内外の研修に積極的に参加できる機会が与えられていると考えます。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・様々なアセスメントを行い、ニーズや課題を職員全体で検討し、放課後等デイサービス計画の作成をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・必要に応じて標準化されたアセスメントツールを活用し評価を実施しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・活動に当たっての留意事項や、注意点などの検討を職員全員で行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・職員全体で活動内容の立案を行い、活動プログラムが固定化されないよう工夫をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・課題については、職員全体で話し合い、個々の特性に合わせた物を設定し取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・モニタリングや、振り返り等で本人に合った計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・必ず打ち合わせを実施し、利用児童の確認、支援内容の役割分担等について確認し、職員間で情報を共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・特に気になったものについては、その日のうちに話し合い、それ以外については翌日の朝のミーティングを利用し、共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・こまめに記録を取ることを徹底し、その結果を検証し、改善につなげていけるよう努力をしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・6ヶ月に1度以上のモニタリングを実施し、必要に応じた計画の見直し、作成をしています。また、3ヶ月経過時に中間評価を行い、計画に変更が必要な場合には保護者様と相談し、計画の変更を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・複数組み合わせ、スモールステップで成功体験を増やせるようにしています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・管理者、児発管が参加することを原則としていますが、より精通した者がいる場合には、その者が積極的に参加できるように努めています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		・学校側から情報を提供してもらえない場合がある為、保護者様から連絡をしてもらっている学校があります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	・現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			・保護者様の同意を頂き、就学前機関との情報交換を行い、計画作成をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	・年齢的に、移行した利用者様がいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・対面での研修やオンライン研修等に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	・普段と違う場所や、慣れない人との交流が苦手な利用者様が多い為、安定して過ごして頂くことを優先とし、今のところ交流や定型発達児との活動は行っておりません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○	・コロナ禍で本年度は開催されておりません。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・連絡帳を活用したり、送迎時に負担にならない程度の時間を使って状況や課題を話し合っています。必要に応じては、電話や事業所内での相談等を行って、共通理解に努めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	・ペアレントトレーニングは実施できておりません。	・ペアレントトレーニングとしてではありませんが、対応の仕方、声かけの仕方を一緒に考えたりお伝えしたりしています。 ・職員がペアレントトレーニングの研修を受け、今後どのように開催できるかを検討中です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時に説明し、変更等があった場合には、お知らせ等を配布し同意を頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・相談等にはチームで考え、助言や支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	・参加希望を募り、保護者会を実施しました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・苦情については記録をして、職員会議等で話し合い検討しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・HUGの連絡帳やブログで活動内容等を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			・個人情報の取り扱いについては、社内研修を行い十分に注意するよう努めています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・意思の疎通が難しい利用者様には、絵カード(PECS)や、筆談等を用いて情報伝達を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			・事業所内ではないが、イベントに参加し活動内容を示している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・マニュアルを作成して職員研修を実施し、発生を想定した訓練を実施しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・年2回実施。避難訓練計画書に基づき訓練を実施し、実施報告書を作成、それを検討し次の訓練に生かしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・法人内に虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修会や、権利擁護研修会に参加したり、虐待防止マニュアルを活用し社内研修をおこなっています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・必要な時には個別支援計画書に記載し、保護者様の同意を得ています。方法や時間については、必要最低限となるよう職員間で話し合い決定しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・アレルギー情報については保護者様から情報提供をして頂き、医師の指示がある場合にはそれに従った対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・ファイルにまとめ、職員誰もが確認できるようにしています。	